

私たちの「仲間たち」

298

もつと感動を！

趣味で植物を見ていて、感動する瞬間は、自分が初めて見るものを見た瞬間です。図鑑などで見たものが目の前にある！この感動はたぶん虫や鳥などの動物を趣味にしている方々も同様ではないかと思えます。何年かかけて、町内の植物調査をしたので、町内の植物では、もうそのような感動は味わえないだろうな、などと思っていました。ところが、こんな思い上がりをも、思い切り打ちのめしてくれたのが、このマツグミです。



▲鳩山の動植物 マツグミ (オオバヤドリギ科)

きっかけはある方から、「モミの木に、こんな植物が付いていたんですけど、これはな

んの植物ですか。」と聞かれたことでした。一目見て、「マツグミだ！」と分かりましたが、初めて見たことと、まだまだ鳩山にも見たことのない植物があることで、二重のショックを受けました。とはいえ、はじめて見た植物です。早速その場所に行ってみました。なんと、行ってみれば、なぜこんな分かりやすい所にあるのに気付かなかったの、と言われるような場所でした。全く恥ずかしい限りです。

マツグミはマツやモミに半寄生する植物です(半寄生植物とは、水などの地中から吸い上げる養分を他の植物から横取りし、光合成は自前で行う植物のこと)。幼木にはあまり付かず、高い所に生え、しかも常緑植物(じょうりょくぶつ)のマツやモミに常緑植物のマツグミが付くので、見つけにくいことと、関東地方あたりが北限で数も少ないことから、見る機会の少ない植物です。

マツやモミの仲間の木に7〜8月頃、赤い花が咲いていたり、5月の末に赤い小さなグミのような実が見えたら、その木にはマツグミが寄生している可能性があります。

今回の経験から、鳩山にもまだまだ感動できるものがあるはずで、次はどんな植物に、どんな形でお目にかかれるのか楽しみが増えました。

(写真・文／中澤利雄)

訂正とお詫び

「広報はとやま」10月号におきまして、記載に一部誤りがございました。以下のとおり、訂正してお詫びいたします。

- ◆表紙写真の説明文内、「興味深々」⇒「興味津々」
- ◆6ページ内、「法廷検査」⇒「法定検査」
- ◆11ページのはとやま雑感内、「416人の参加者」⇒「416人の受付者」



人口と世帯

10月1日現在、()は対前月比

人口	14,504人	(- 13)
男	7,167人	(- 9)
女	7,337人	(- 4)
世帯	5,877世帯	(+ 2)
9月の出生数	4人	

11月の納税・納付

国民健康保険税	(第5期)
後期高齢者医療保険料	(第5期)
介護保険料	(第5期)

●納期限を過ぎないように、コンビニ納付や口座振替をご利用ください。

編集・集・室

▼10月5日に予定されていた「第57回町民体育祭」は、雨天のため残念ながら中止となりました。

小さい頃、心待ちにしていたイベント当日に、雨が降らないよう「てるてる坊主」を作った記憶があります。最近はお家で作る場面はあつたのでしようか。こういった風習も含め、今あるもの、昔から続いてきたものを、次世代に伝える機会を持ちたいものです。

広報写真で振り返る町の歴史 ①



平成8年4月28日 第1回「はとやまウォーキング大会」
町内約12kmのコースを歩くウォーキング大会で、4歳から80歳までの118人が心地よく歩いた様子が伝えられています。【平成8年6月(No.286)号より】